

国東市立熊毛小学校

図司和子校長 児童数50人

☎0978-83-0311

熊毛小学校は、平成3年、山を切り開いて造成された現在の地に新築移転し、平成7年に向田小学校と、12年に岐部小学校と統合しました。

校区には世界に誇る偉人「ペトロ・カスイ岐部」の生誕地があり、その勇気や行動力、生き方の素晴らしさを学習しています。5月中旬、ローマ教皇様にお送りしたメッセージに返事が届き話題になりました。

「あいさつサイコー熊毛っ子（大きな声で心のこもった挨拶を）」「読書55(GO・GO)運動（年間一人55冊以上本を読もう）」「チャレンジマラソン300周（運動場300周・60kmを走ろう）」を目標にし、「進んで学び、こころ豊かでたくましい熊毛っ子の育成」に取り組んでいます。

本年度は学力向上支援教員兼務校となり、算数科の授業改善に向けて実践を重ねています。また、「人権の花」運動指定校として協力し合って花を育てることに、相手の立場を考へること、協力し合うこと、感謝することなどを理解させ、人権感覚を育てていこうとしています。

全校児童の半数近くがバス通学をしている本校では、バス停で登下校の見守りをしていただくスクールガードの方々をはじめ、熊毛っ子祭りや炭焼き体験学習など、保護者のみならず地域の多くの方々の協力をいただいています。



市長室から

こんにちは

ピワと草刈り

6月 16日 NO.26

国東市長 三河 明史

いやあ、今日は良い天気でしたね。梅雨が明けた夏空のような好天でした。

昨日は、けんこくさいでんおたうえしき 献穀斎田御田植式の神事で、久しぶりに、ほんの少しでしたが田植えをし、今日は珍しく午後からはオフでした。

家に帰ると、すぐ近くの開墾地に登り、伸びに伸びていた草を刈りました。今日のような日はめったにないですからね。一時間ほど刈ると草刈り機の燃料が無くなるので、燃料を補充しながらひたすら草を刈りました。

この開墾地は祖父たちが切り開いたもので、昔は、夏にはトマトやマクワ瓜を植えていました。夏の暑い日、これらをもいで、すぐ上を流れる用水路で洗って、かぶりついたものです。ここからは海が望め、かつてトマトをかじりながら、小・中学校の校舎越しに海を行く船を眺めたことが、昨日のことのように思い出されます。

この開墾地に二本のピワの木があり、今年は表年なのか、いっぱいに黄金色の実をつけています。今年は実も大きく、実に甘いのです。草刈りに汗を流し、喉が乾けば石積みには腰をおろして、ピワの実をもいで食べる。果汁を滴らせながら食べるのは、本当に贅沢な気分です。

一方、開墾地には三本の梅の木もあり、今年はたわわに実をつけています。大粒の梅の実が薄いクリーム色になり、その一部がほんのりと赤く色づいています。

遠く家々の向こうには富来川が流れ、その川の両側には田植えの終わった田んぼが広がっています。のどかな、のどかな風景です。